



# かかわ看護だより

104

平成31年1月1日

平成31年1月1日現在 会員数

**7,409名**

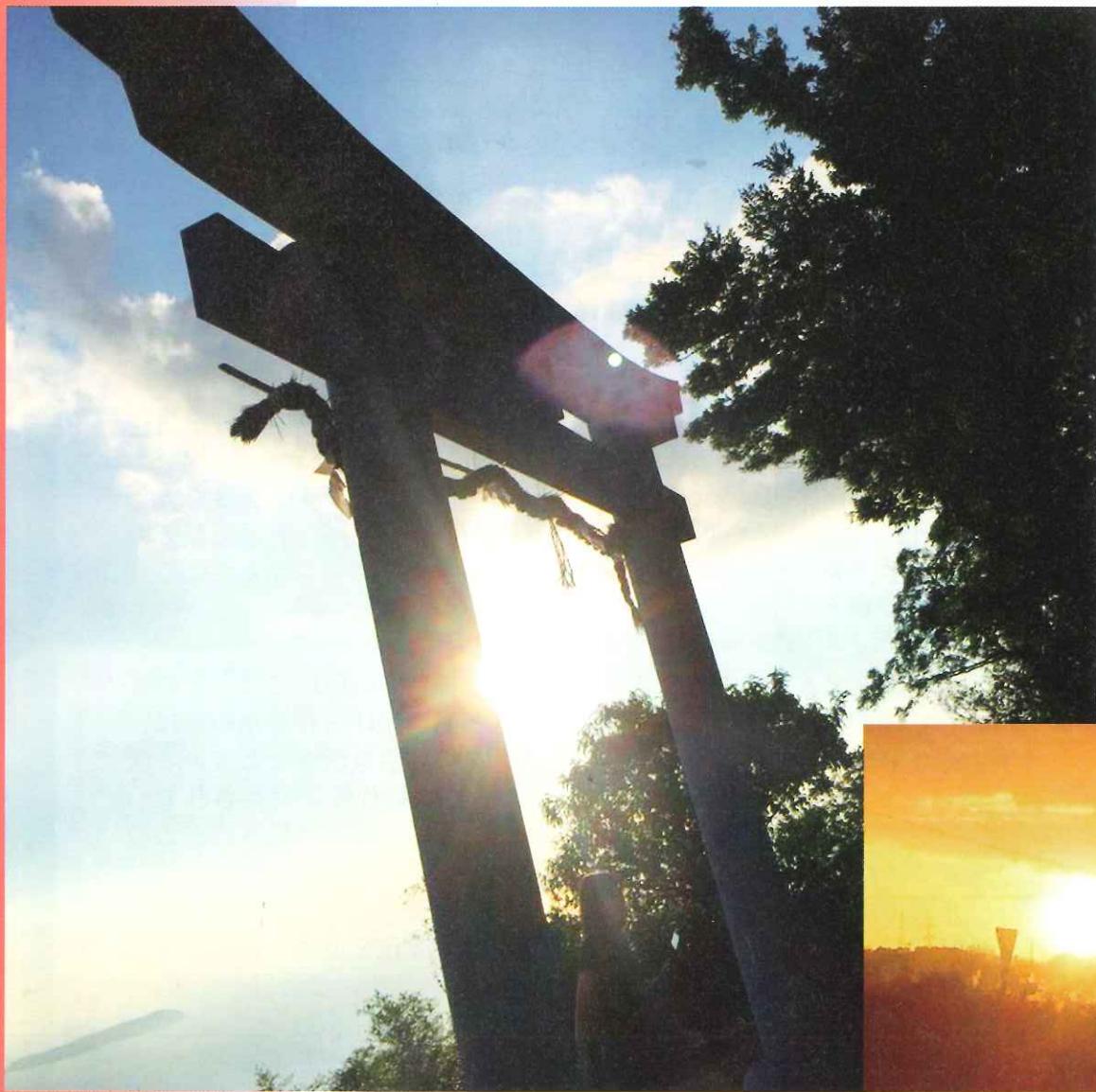
- 保 健 師 203名
- 助 産 師 270名
- 看 護 師 6,711名
- 准看護師 225名

(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4

TEL : 087-864-9070 FAX : 087-864-9071

<http://kagawa-kango.com>

発行責任者／中村 明美



天空の鳥居（観音寺市高屋神社本宮）



初日の出（坂出市川津町）

撮影者：会員

## 《目 次》

年始のご挨拶	2
平成30年度職能委員会活動報告	3
平成30年度支部活動報告	4
平成30年度受章者のご紹介	5
研修だより	5~7
特定行為研修を修了した看護師の実践報告(第2報)	7
理事会報告 お知らせ	8





# 年始のご挨拶

公益社団法人 香川県看護協会

会長 中村 明美



新春のお慶びを申しあげます。

日頃の変わらぬご支援、ご指導に深く感謝しつつ、新しい年が穏やかな良き年でありますようご祈念申しあげます。

平成30年は、日本だけでなく世界各地が自然災害に震える年でした。当看護協会の10名の災害支援ナースの皆さまは、異常な暑さの中で、岡山県真備町で活動されました。

また、香川県でも防災対策、発災時の対応について真剣な取り組みが始まり、当看護協会は福祉避難施設となっていますが、災害看護対策委員の皆さまと共に現実的な対応を考えつつあります。

香川県の委託事業としてナースセンターが昨年7月に実施した平成30年度看護職員確保状況調査では、平成29年度の新卒看護職の離職率が13.5%になり、衝撃が走りました。離職に関しては、教育機関と臨床現場双方の分析と改善が急がれます。「生きるを、とともに、つくる。」看護職は、仲間に対しても「生きるを、ともに、つくる。」看護職でありたいと願います。そして、ナースセンターとしての役割をさらに考察しなくてはなりません。

今年は、離職率と深く関連する「働き方改革」元年です。皆さまの職場では、どのような取り組みが始まっていますか。多様な人材が活き活きと働き続けられるためには、一人ひとりが仕事に適り甲斐や誇りを持ち、仕事から活力を得て活き活きとしている状態であるとされる Work Engagement をマネジメントできる組織作りが期待されています。有給休暇の取得、三六協定の遵守、パワーハラスメントの防止等の根底に、このような組織作りを位置づけたいと思います。

当看護協会の一大事業であります看護研修は、クリニカルラダーに沿った研修、看護研究、認定看護管理者研修、実習指導者講習会、新人研修等の強化を進めていますが、看護研修は Work Engagement を後押しするものであります。是非、ご活用ください。

先輩看護職の偉業に続いて、誇りと自信を持って、人々の健康と福祉の増進への貢献は、働き方改革とともに時代のニーズに沿った看護の開発、展開により確かなものとなります。

今、看護の開発、展開で焦点となっているのは、地域包括ケアシステムの推進、看護基礎教育の改革、特定行為研修等の看護職の役割拡大であります。

一人でも多くの方が、看護協会の活動に積極的にご参加いただきますようお願い申し上げます。

平成30年度

## 職能委員会活動報告



職能委員長

### 保健師職能委員会

保健師職能委員長 田中 邦代

今年度初めて、中堅期保健師研修と保健指導ミーティングをコラボして開催しました。

中堅期保健師研修受講者を対象にファシリテーター研修を行い、その学びを1か月後開催した新任期及び中堅期保健師対象の保健指導ミーティングで実践するという企画とし、県立保健医療大学教授 高嶋伸子先生にご指導をいただきました。今後、中堅期保健師に実践しての学び、職場での実践にどう活かされているかを把握し、次年度以降の研修に反映したいと考えています。

また、子育て世代包括ケア推進プロジェクトグループでは、28年度のモデル事業からの課題に焦点をあて「切れ目ない支援」について検討しています。今後、保健師、助産師及び看護師の支援の視点について整理する予定です。整理するに当たり、皆様方にご意見をお伺いがあるかと思いますが、ご協力をよろしくお願ひいたします。

### 助産師職能委員会

助産師職能委員長 野口 純子

助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー<sup>®</sup>）レベルⅢ認証制度では、2015年の運用開始以来、全国で11,008人のアドバンス助産師が誕生し、就業助産師数の約3割を占めることとなりました（香川県では133人）。2017年度は申請システムを休止していましたが、2018年8月より新規申請が再開されました。今年度は、何名のアドバンス助産師が誕生するでしょうか？また、2018年2月27日付で「アドバンス助産師／Advanced Midwife」の商標権が取得されました。今後のアドバンス助産師の活動が期待されています。

2015年にアドバンス助産師を取得された方は、2020年度が更新の年となります。お手元に届いている機関紙「アドバンス助産師」Vol.3にも目を通してください準備をお願いします。香川県看護協会では、更新に向けて活用できる研修会の開催及び他団体の研修などの情報発信をしていきます。



### 看護師職能委員会Ⅰ 病院領域

看護師職能Ⅰ委員長 細川 克美

11月17日（土）「多職種連携における病棟看護師のさらなる専門性の発揮にむけた交流会」を45名の方々の参加を得て開催しました。まず3施設から人材育成と活用・入退院支援看護師とリエゾン精神看護専門看護師の活動状況等について事例発表、続いて「多職種連携における看護師の役割」「専門性を発揮するために受けたい支援」についてグループ演習をし、最後に全体で検討結果を共有しました。活発な意見交換により、看護師の専門性発揮を取り巻く環境の情報共有の場となり、今後の課題発見に繋がった交流会となりました。

### 看護師職能委員会Ⅱ 介護・福祉施設・在宅領域

看護師職能Ⅱ委員長 井上 香里

委員会活動として、今年度も出前講座（介護施設における看取り研修への講師派遣）を継続しています。出前講座をご利用いただいた施設からは、「多職種が研修に参加できるので看護以外の職種との協働につなげていけるので良かった」「施設での看取りを希望する利用者・家族が増えている。自分たちの行っているケアについて自信を持つことができた」などの感想をいただいています。出前講座をご希望の施設は、香川県看護協会にお問い合わせください。



# 平成30年度 支部活動報告

## 第1支部 支部長 赤松美智代

10月13日、「医療と介護がつなぐ在宅医療～その人らしく生きていくために～」をテーマに、東讃地域多職種連携推進交流会を開催しました。様々な職種の方が87名参加されました。退院後訪問を利用して訪問看護につながることができた事例、在宅患者の看取りについて、それぞれ看護師の立場と介護支援専門員の立場から、そして地域に根ざした看護師が行うグリーフケアの3題事例の報告の後、引き続きグループワークを行い活発な意見交換が行われました。今後も多職種連携のために看護職の役割強化に向けた活動を展開していきます。



## 第2支部 支部長 吉元 和子

小豆島では、小豆医療圏地域包括ケアシステムの下、「安心して住み続けられる地域づくり」をめざして活動が展開されており、第2支部は、その活動を通して地域や行政・関係機関との連携強化に努めています。今期は、ルーラルナーシング学会で「繋がる」をテーマに、病院・行政・住民の代表が活動報告をし、また、商工祭りでは、こども看護体験コーナーに参

加しPR活動をするなど地域との交流を深めています。



## 第3支部 支部長 原渕美千代

栗林地区の看護職等連携交流会は2年目を迎え、顔の見える関係性ができ、平成31年1月には訪問看護ステーションからの事例提供より看護職それぞれの立場から事例検討する会を計画しています。また、今年度は新たに屋島地区でも看護職等連携の会を立ち上げるための準備をしています。まずは検討会メンバーの依頼、そして平成31年1月に第1回目として施設紹介など地域の特性を共有する会を設け、体制づくりをしていこうと計画しています。

## 第4支部 支部長 池内真理子

地域包括ケアにおける看護職の役割機能強化に向け、高齢者と認知症者に関わる地域連携、医療従事者の為の交流会を10月に開催しました。11の病院・訪問看護ステーション・高齢者ケア施設がポスター形式で発表し、他施設との積極的な意見交換ができ顔の見える関係づくり、連携に繋がりました。

2月には、在宅支援に関して多職種がそれぞれの立場からどのように関わることが必要であるか、事例報告の形で役割について情報共有を図りたいと考えています。



## 第5支部 支部長 塙岡康恵子

11月17日（土）に第4回となる「わが町の看護チーム交流会」を開催しました。今年度は地域包括ケアシステムの5つの要素「医療・介護・予防・住まい：生活支援」について5名のパネリストの方に情報提供していただきました。89名の参加があり、地域で民生委員

をされている方の認知症SOSネットワークや高齢者による弁論大会の紹介など、看護職だけでは知りえない多職種と共に情報共有できたパネルディスカッションでした。

## 第6支部 支部長 武森八智代

地域包括ケアにおける看護の機能強化を目的に継続的に活動しています。10月には交流会を開催し、ワールドカフェ方式のグループワークを通して、看護職の皆様から促進資源を紹介していただきました。テーマⅠ「地域包括ケアシステムが構築された状態とは」に引き続き、テーマⅡ「推進された状態にするために明日からできることは」について意見交換し、「お互いの役割上の思いやジレンマを共有し、その上でお互いの職場を理解するための行動を起こすことが大切」等の意見をいただいております。まだまだ課題はありますが、「顔の見える関係」を少しずつですが、創りだせているように感じております。

## 第7支部 支部長 森安 浩子

11月11日（日）地域包括ケア交流会、今回のテーマは、観音寺・三豊の在宅医療・介護連携のために共有したい「感染対策」～インフルエンザ・ノロウイルスなどを開催しました。参加者は病院や高齢者ケア施設から会員63名と非会員13名の参加がありました。デイサービス、入所施設、慢性期病院、急性期病院から感染対策について取り組みの発言後、グループワークを行いました。医師会、西讃保健福祉事務所の感染担当者からの発言、また感染管理認定看護師から感染防止対策の地域連携カンファレンスの紹介をし、共有したい感染対策は、「感染を起こさない標準予防策」と「正しい最新情報」とまとめました。

平成30年度

## 受章者のご紹介

おめでとうございます。長年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申しあげます

叙勲

瑞宝単光章

元救護施設「清水園」  
総務課副主幹

大西 玲子 様



元香川県立白鳥病院  
看護部長

溝渕 澄子 様



## 研修だより

### 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを受講して

社会医療法人財団大樹会総合病院 回生病院 中落 紀子

香川県看護協会で開催された認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修を受講させていただきました。私は、看護管理者とともに部署内の看護の質向上や後輩育成などに取り組んでいます。その中で、問題解決や指導方法について悩むことがあります。今回の研修では、看護専門職としての管理の基礎知識など多くの事を学ぶことができました。中でも人材育成論ではキャリア開発と継続教育の重要性、学習する人材を育成するための具体的な指導方法について学べ、自己の教育方法について見直す良いきっかけとなりました。また、講義やレポートを通して、自部署の現状や看護専門職としての課題などを管理的な視点もふまえ考える機会を得ることができました。

得ることができました。グループワークでは、他施設の受講者と様々な意見交換ができ、考え方や視点の幅が広がりました。

今後は、生涯学習者として自部署のみならず、自施設の発展のために学んだことを生かし取り組んでいきたいと思います。



### 保健師助産師看護師実習指導者講習会での学び

香川県立中央病院 八矢 恵美

実習指導者講習会に参加して「教育とは何か」「教育原理」「実習指導の原理」など指導者として一から学ぶ事ができました。講義で特に印象に残っているのが「教育的教育」です。自分の過去の指導方法は一方的で、悪い所ばかり評価し、感情的に指導していました。教育的な教育はその真逆であり、発問し答えを導き出す事で相手に思考させ、理解力が高まり、知的好奇心の喚起にも繋がっていく事を学びました。臨地実習は「看護を見せる」現場であるとともに、学習してきた知識を統合し、実践できる貴重な場です。学生が実践し、努力し得られた成果から成功体験を得られるよう学生に合わせた目標設定をしていきたいです。成功体験をさせてあげる事が内発的動機付けとなり、その後の学習にも繋がっていくと感じました。

また、知識や経験が違えば、見えているものは全く違っており、まず学生と対話し、否定せず尊重したうえで指導する必要があると分かりました。私の過去の指導方法は否定する事が多く、今後は学生の考えを聞き、共感・承認をしたうえで自分の意見を伝えようと思います。

講習会に参加し、実習指導者としての在り方や、自らの看護観・指導観についても深く考えるいいきっかけとなりました。講習会で学んだ事を臨床現場で活かして実りある実習となるよう努力を続けていきたいです。



## 災害支援ナース養成研修－実務編－を開催

災害看護対策委員会 吉井由美子

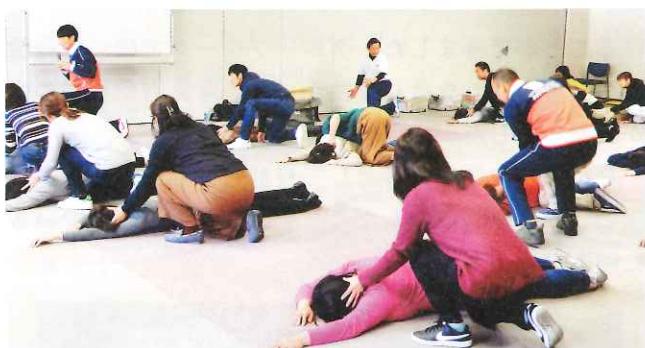
11月25日（日）に、日本赤十字社香川県支部 大林武彦先生と3名の研修ボランティアを講師にお招きし、「災害支援ナース養成研修 実務編」が開催されました。

この研修は、3年に1度の実施であり、前回の研修以降に、災害支援ナース研修（基礎編）を受講された方と既に災害支援ナースの登録者を含む55名が参加されました。

研修は、災害看護の基礎知識や技術についての講義後、2～4人のチームで、お互いに実技を体験しました。大林講師の軽妙な語り口の中、止血方法のほか、新聞紙やストッキングなど身近にあるものを使った骨折時の応急処置、担架による搬送など、誰もが知っていると便利で、災害時にとても役立つ内容でした。

災害現場では、指示・命令等が明確であるとともに、傷病者等の対応では、相手に声をかけながら安心してもらうこと、またチームでの活動時もお互いの声かけ等が重要であることを再認識することができました。

今回の研修受講者は、登録していただくと、次年度からは災害支援ナースとなります。是非、災害時の被災者支援のため、香川県看護協会災害支援ナースとして登録申請をしていただきたいと思います。



## 医療安全管理者養成研修を受講して

高松赤十字病院 十川 美香

7月から11月にかけて、香川県看護協会において開催された43時間の医療安全管理者養成研修に参加させていただきました。各施設で医療安全管理に関わる42名が参加していました。研修では、医療安全管理業務を遂行するるために必要な知識・技術・態度について学ぶことができました。その中で印象に残ったことは、医療事故当事者への支援に関する講義でした。講義の中で、事故後支援の対象は「患者・家族」「事故当事者となった医療者」「周囲のスタッフ・事故現場の管理者」であると言われていました。当事者が事故と向き合うことができるよう支援すると同時に、早期に真相究明や再発防止のため、周囲のスタッフ・現場管理者への支援を組織としてしていくことで、患者家族への誠意ある対応へつながることを改めて理解することができました。日頃から支援の基盤となる話し合える環境を整え、医療安全管理に取り組んでいきたいと強く心に誓いました。学習支援をしていただいた、香川県看護協会担当者の皆様、医療安全ネットワーク委員の皆様に深く感謝申し上げます。

## 訪問看護師養成講習会を受講して

特別養護老人ホーム弘恩苑 久保 朋子

私が、訪問看護師養成研修会に参加した理由は『訪問看護が知りたい』という漠然としたものでしたが、研修期間中の体験は、私にとって貴重な時間となりました。

6月20日からeラーニング研修がスタートし、7月7日から集合研修は始まりました。集合研修初日の香川県看護協会中村会長の講義「看護の動向」から元気をいただきました。訪問看護ステーションの実習では、訪問看護師が利用者の方やご家族に寄り添いながら看護する姿が印象的でした。研修期間中は受講生の皆さんに励まされ、楽しく、多くの学びがありました。また、皆さんとも、ネットワークづくりができました。

最終日には、受講生全員に修了証が手渡され、無事仲間と一緒にこの日が迎えられたことを嬉しく想いました。

私は、看護には「生きることを支える看護」と「ゴールを支える看護」があると考えています。今回学んだことを、今後の活動に活かしていきたいと思っています。



## 坂本すが 公益社団法人日本看護協会前会長講演 「看護の将来ビジョンと看護職への期待」を受講して

社会医療法人財団大樹会総合病院 回生病院 山下 薫



10月28日（日）、「看護の将来ビジョンと看護職への期待」と題して、現在は東京医療保健大学副学長をされている坂本すが先生にご講演いただきました。

日本看護協会長をされている時、「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」というビジョンを策定されました。約2年という長い時間をかけて話し合い、それぞれの違った意見を一つの方向にまとめていく作業を行ったことは、とても大変であったが大切なことであると話されていました。認定看護師等ではない約95%の実践する看護師一人ひとりが強くなり、内外に認められるものが必要であるという思いで作ったクリニカルラダー、看護師基礎教育4年制を目指している看護基礎教育制度、生活の視点を持っている看護師が役割を發揮する

ための特定行為研修制度の創設、などの経緯や想いをお聴きしました。また、日本の労働人口の半数がAIやロボットなどで代替可能になる、と予想されている将来に「看護」が生き残るには、見えていない看護をどうやって見せていくかがポイントであると話されました。

患者だけでなく、スタッフ、組織、地域などの“見えてない”ものを引き出すために、自分で考える力を持つこと、話し合うこと、全体をみるとことの大切さに気づくことができた講演でした。



## 第2回 看護管理者研修「香川県の保健医療の動向」を受講して

香川県立中央病院 高島小百合



健康福祉部医務国保課課長の東善博先生をお迎えし、「香川県の保健医療の動向について」というテーマで看護管理者研修があり、73名の

県内の看護管理者が受講した。資料も説明も大変分かりやすく有意義な2時間であった。

地域医療構想、地域包括ケアシステム構築のために、香川県がどう考えているのか、そして看護管理者が何をどう考え行動すべきなのか、を理解できる機会となつた。看護師として長年、人の生死にかかわっていて感じることは、人の死にざまは、その人がいかに生きたか、に繋がっているということである。人生の最終章

にかかわることができる看護職だからこそ、その責任の重さにやりがいを感じられるのだ。そして、地域医療構想は単に医療機能分化や病床数の削減を目的としているのではなく、人の幸せが何なのかを香川県内の各医療機関が考える機会となる、という期待が持て、少し気持ちが明るくなった。

講義終了後も活発な意見交換があり、その質問に真摯に答えてくださる講師の人柄がにじみ出る温かみを感じ取れたのは私一人ではなかったはずだ。それほど心に響く内容であったし、看護管理者としての責任を改めて強く感じた有意義な時間であった。頑張れ香川県、頑張れ看護職。



## 特定行為研修を修了した看護師の実践報告(第2報)

独立行政法人国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター  
特定行為研修修了看護師 西川 和彦

現在、私は、特定行為研修2区分2行為（経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整、気管カニューレの交換）を実施しています。当院では特定行為研修修了者の受け入れが初めてであり段階的に活動を拡大しています。重症心身障害児（者）病棟での気管カニューレの定期交換が主な実践活動です。

行為自体に焦点がいきがちになりますが、カニューレ交換日は該当病棟に出向き、入浴介助等の生活援助を行なっています。患者の個別性を捉えながら、特定行為が患者の日常生活の一部であることを意識して、よりよい看護を提供できるように取り組んでいます。侵襲度の高い行為を行う為、判断や行為の責任を感じながら看護のやりがいを再発見しています。

# 理事会報告

第5回 平成30年12月1日(土) 9:00~12:55

## ●協議事項

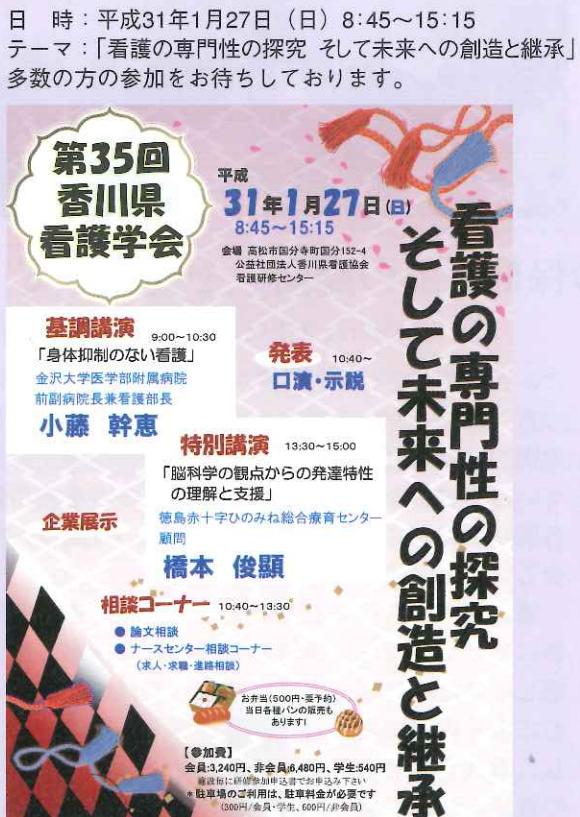
- 平成30年度第2四半期会計報告(案)、監査報告について(承認)
- 会館維持管理費減額について(承認)
- 安全管理ネットワーク委員の変更並びに認定看護管理者

教育委員会委員の追加について(承認)

- 健全母性育成事業の見直し(提案)について(承認)
- 「看護の日・看護週間」記念講演会講師(案)について(承認)
- 2019年度 教育計画(案)について(承認)
- 2019年香川県看護学会の優秀演題の選考基準について(承認)
- 訪問看護ステーションこくぶ増築について(承認)

お知らせ

## 1 第35回香川県看護学会



## 2 看護職が働き続けられる職場づくり推進活動(労働環境改善)について

- 「看護職のWLB推進フォローアップワークショップ」開催
  - 日時：平成31年2月16日(土) 13:30~16:00
  - 場所：公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター
- 「夜勤・交代制勤務環境改善フォーラム」開催
  - 日時：平成31年3月16日(土) 9:30~12:00
  - 場所：公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター

## 3 平成30年度香川県看護協会事業活動実践報告会

支部活動を始め、平成30年度重点事業として実施した香川県看護協会活動の報告会を開催します。是非ご参加いただき、看護協会活動を身近に感じ、共に活動しましょう。

日時：平成31年3月16日(土) 13:00~16:00

## 4 介護施設等における看取り研修

本人・家族の意思決定や支援及び安らかな最期を迎えるための支援方法を学び、終末期や看取りケアの質向上を図ることを目的に開催します。

日時：平成31年1月19日(土) 10:00~16:00

※申し込み締め切りは過ぎていますが、ご希望があれば香川県看護協会事務局にご連絡ください。

## 5 平成30年度高齢者ケア施設看護管理者交流会

高齢者ケア施設で働く看護管理者を対象に、職場の活性化に向けた人材育成と看護管理者のネットワークづくりを目的に開催します。

日時：平成31年2月15日(金) 9:30~12:00

## 6 延期された研修のご案内

台風24号のため延期となっていました「研修No.39フレイル・サイコペニア・ロコモティブシンドロームの予防」は、平成31年2月17日(日)に実施いたします。  
内容・時間等の変更はございません。

お問い合わせ先：協会事務局 教育担当

TEL 087-864-9070

## 7 平成30年度「看護」の仕事に就きたい方の就職フェア

香川県、香川労働局と香川県ナースセンターの協働により人材確保に向けた取り組みとして、「看護」の仕事に就きたい方の就職フェアを開催します。

日時：平成31年3月2日(土) 13:00~15:00

場所：丸亀市保健福祉センター(ひまわりセンター)  
丸亀市大手町2-1-7 TEL 0877-22-5700

※お知り合いの方に、お声かけをお願いします。

## 8 国家試験を受けた看護学生対象研修会

講師：公益社団法人日本看護協会副会長(香川県立保健医療大学 学長)  
井伊 久美子 先生

日時：平成31年2月23日(土) 13:30~15:00

受講料金・駐車料金：看護学生は無料

## 9 看護代表者協議会(教育部会)開催

日時：平成31年2月23日(土) 15:15~16:30

会場：公益社団法人香川県看護協会 看護研修センター

①研修会(15:15~16:00)

テーマ「看護基礎教育制度改革の進捗と期待」

講師：公益社団法人日本看護協会副会長(香川県立保健医療大学 学長)

井伊 久美子 先生

②意見交換会(16:00~16:30)

## 編集後記

あけましておめでとうございます。

今年はいのしし年です。元号も新しいものに変わります。

皆さんも新しいものにチャレンジして、まっしぐらに走ってみませんか…。

広報出版委員一同